

憧れは、目標に



一瞬でボールを取られました。選手は体も大きくて、足も速くて、圧倒的でした。

チームでキーパー以外のいろいろなポジションをやっていて、選手が練習でドリブルをたくさん仕掛けていたので、そこを参考にしたいです。

将来はサッカー選手になりたいけど、今日のプレーを見て、まだ遠いと感じました。プロになるためには、まず体づくりから頑張ります。

一緒にプレーしたときに、ドリブルで抜けたときに、いちばん楽しかったです。川島選手は身長が高くて、優しくて、すごく上手でした。

選手はみんな足が速かったし、キーパーはシュートを打たれたときの反応も、コースの予測もすごかったです。

ばくも将来はサッカー選手になりたいので、もっと練習を頑張らないといけないと思いました。

プロの試合をボールパーソンとして見られることははじめてで、チーム全員が声を出して、攻守の切り替えが速くて、競り合いに負けない。さすがプロだと思いました。僕たちのチームでも、攻守の切り替えを速くすることを目標にしているの、今日見たことを覚えて、練習を頑張りたいです。

今日間近で見られて、目標のプロサッカー選手になりたい気持ちが大きくなりました。

一番近くでプレーを見るこ
とができた子たちもいます。ト
ピッチに入る特別な時間が用意
されました。子どもたちは選手
たちとボールを蹴り、夢中で追
いかけて、ピッチにはじけるよう
な笑い声が響きました。短い時
間でしたが、遠かった背中との
距離が少しだけ縮まった瞬間で
した。

さらに、憧れの選手と一緒に
ピッチに入る特別な時間が用意
されました。子どもたちは選手
たちとボールを受け取り、選手
とそっと握手を交わす子どもた
ち。その姿を、選手たちは優し
い笑顔で見つめていました。

贈呈式の日。見つめる先には、
テレビで見ていた大きく強靱な
体をした選手たち。緊張しながら
サイン色紙を受け取り、選手
とそっと握手を交わす子どもた
ち。その姿を、選手たちは優し
い笑顔で見つめていました。

遠い存在がすぐそばに近づい
た夏。選手はもう、ただ見上げ
るだけの存在ではありません。
手のひらに残ったぬくもり、手
渡された贈り物、そして目の前
で見た息づかいのすべてが、「い
つか同じ舞台へ」という強い
想いを、静かに育てはじめてい
ます。

トレーニングマッチでボールパー
ソンを務めた中学生は、すぐそ
ばにいました。プロの激しい息
づかいも、ボールを蹴る強い音
も、すべてが本物でした。



三和FC
こはしがわおうが
小橋川 桜雅さん(糸満小5年)



光洋FC
たまろりた
玉城 吏泰さん(光洋小2年)



グランフォルティス沖縄
ももはらひろと
桃原 大翔さん(糸満中1年)